

第186回

中小企業景況状況調査報告書

[ 令和 7年10月～12月 実測  
令和 8年 1月～3月 予測 ]

令和8年1月  
群馬県商工会連合会

# 中小企業景況調査要領

## 1. 調査の目的

この調査は、商工会地区内の小規模企業の経営動向とその特性を継続的に把握し、その分析結果により、商工会の経営改善普及事業が効果的に実施されることを目的としている。

なお、本報告書のD・I値とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index, 景気動向指数) の略であり増加（上昇・好転・長期化）企業割合から減少（低下・悪化・短期化）企業の割合を差し引いた値を示すものである。

D・I がプラス (+) なら・・・・・・強気（楽観）  
D・I がマイナス (-) なら・・・・・・弱気（悲観）

（例）売上高で増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、

D・I 指数・・・・50% - 20% = 30%

となり、全体としての経営者の売上に対する強気の度合いを表している。

## 2. 調査期間

今回は令和7年12月1日を調査時点とし、調査対象期間は 令和7年10月～12月期である。

## 3. 調査方法

調査対象企業への商工会経営指導員による聞き取り面談調査による。

## 4. 調査実施商工会別の調査対象企業数及び回収率

商工会名（商工会管区人口：人）	調査対象企業	製造業	建設業	小売業	サービス業
桐生市新里	15,581	15	4	4	5
高崎市倉渕	2,826	15	5	3	5
榛東村	14,538	15	3	2	6
高崎市新町	11,562	15	2	3	6
甘楽町	12,375	15	3	2	6
東吾妻町	11,801	15	4	3	5
片品村	3,803	15	3	2	6
玉村町	35,337	15	3	2	6
板倉町	13,334	15	3	2	6
明和町	10,655	15	3	2	6
合 計 (構成比%)	150 100.0%	33 22.0%	25 16.7%	35 23.3%	57 38.0%
回答企業数	150	33	25	35	57
回 収 率 (%)	100.0	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※人口については、各市町村ホームページ等を都度参照

## 5. 業種別構成

### (1) 製造業

業種内訳	企業数	構成比%
食料品製造業	11	33.3
飲料・飼料・たばこ製造業	1	3.0
繊維工業	1	3.0
家具・装備品製造業	1	3.0
パルプ・紙・紙加工品製造業	1	3.0
プラスチック製品製造業	2	6.1
窯業・土石製品製造業	2	6.1
鉄鋼業	1	3.0
非鉄金属製造業	1	3.0
金属製品製造業	5	15.2
業務用機械器具製造業	1	3.0
電子部品・デバイス・電子回路製造業	2	6.1
電気機械器具製造業	1	3.0
輸送用機械器具製造業	1	3.0
その他製造業	2	6.1
合計	33	100.0

### (2) 建設業

業種内訳	企業数	構成比%
総合工事業	10	40.0
識別工事業	11	44.0
設備工事業	4	16.0
合計	25	100.0

### (3) 小売業

業種内訳	企業数	構成比%
各種商品小売業	2	5.7
織物・衣服・身の回り品小売業	3	8.6
飲食料品小売業	16	45.7
機械器具小売業	4	11.4
その他小売業	9	25.7
無店舗小売業	1	2.9
合計	35	100.0

### (4) サービス業

業種内訳	企業数	構成比%
道路貨物運送業	2	3.5
不動産取引業	3	5.3
専門サービス業	1	1.8
技術サービス業	5	8.8
宿泊業	7	12.3
飲食店	17	29.8
持ち帰り・配達飲食サービス業	1	1.8
洗濯・理容・美容・浴場業	8	14.0
その他の生活関連サービス業	1	1.8
その他の教育、学習支援業	1	1.8
自動車整備業	8	14.0
その他の事業サービス業	3	5.3
合計	57	100.0

## 1. 群馬県全産業の景況概況

今期（令和7年10月～12月期）の各産業売上高（完成工事高）DI値に見る業況判断は、製造業：0.0→12.1、建設業：-4.0→12.0、小売業：-14.3→-8.5、サービス業：3.5→-8.8となった。製造業、建設業、小売業で上昇し、サービス業で低下となった。

また、業種別の景況判断では、製造業、小売業、サービス業は「薄曇」、建設業は「曇」となった。

来期（令和7年10月～12月期）予想では製造業：0.0→0.0「薄曇」、建設業：12.0→0.0「薄曇」、小売業：-11.4→-2.9「薄曇」、サービス業：-1.7→0.0「薄曇」であり、製造業が維持、建設業が低下、小売業、サービス業が上昇すると思われる。

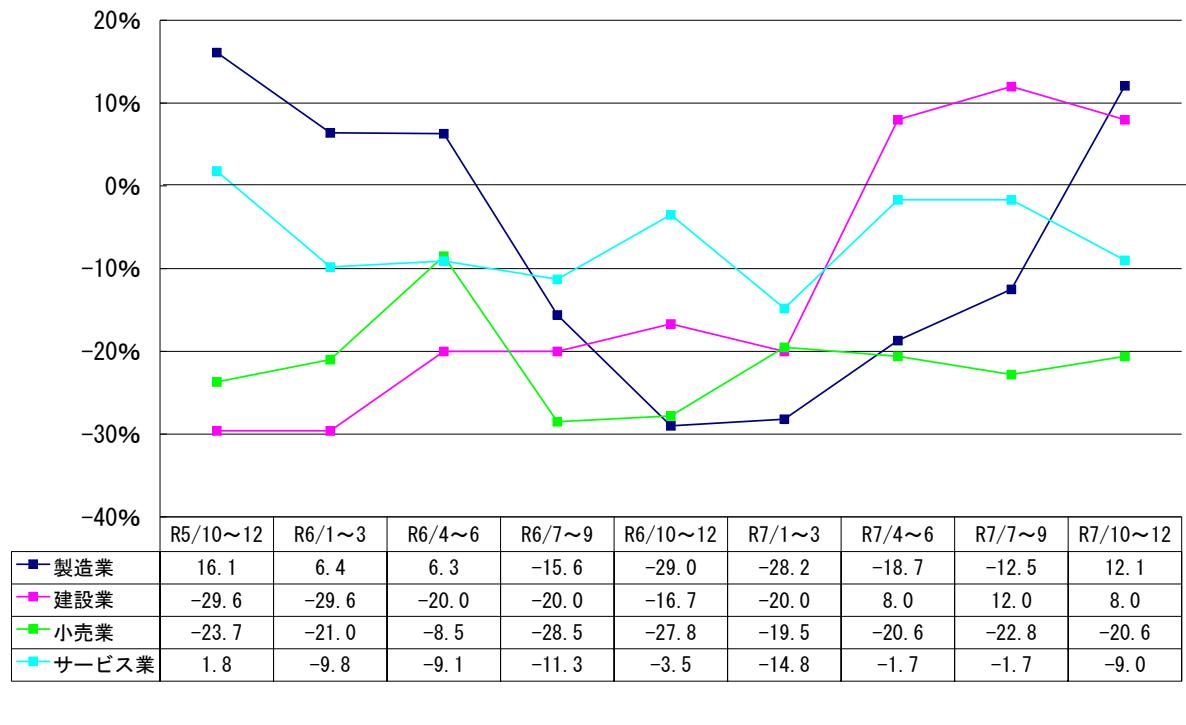
凡例

DI値	100 ～ 30.1	30 ～ 10.1	10 ～ ▲10.0	▲10.1 ～ ▲30.0	▲30.1 ～ ▲60.0	▲60.1 ～ ▲100.0
表示						
内容	快晴	晴	薄曇	曇	雨	大雨

売上高（完成工事高）にみる各産業D I 値（前年同期比）の推移

年月 第186回	令和5年度			令和6年度				令和7年度			
	10～12 月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12 月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12 月	1～3月 見込	
製造業											
建設業											
小売業											
サービス業											

### 全産業の業況（自社）推移－前年同期比－



D I

### 全産業の売上高推移－前年同期比－

